

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 事業名           | 目指せ！無事故・無犯罪の村「生坂」事業      |
| 事業主体<br>(連絡先) | 生坂村                      |
| 事業区分          | (4) 安全・安心な地域づくりに関する事業    |
| 事業タイプ         | ソフト / ハード / ソフト・ハード      |
| 総事業費          | 761,400円 (うち支援金440,000円) |

事業内容

○国道19号及び県道で交通事故の多い箇所に

- ・いねむり注意 5枚
- ・事故多しスピード落とせ 5枚
- ・あぶない！！とびだし 5枚
- ・危険 スピード落とせ 5枚
- ・学童多し 注意 5枚
- ・通学路 スピード落とせ！！ 5枚 計30枚

の看板を作り地域住民と協働で看板を設置して通行車両に注意喚起を実施した。



○村内で人通りの少ない場所や人目の届かない場所を村民と協同で調査して

- ・防犯カメラ (ソーラー式) 2台
- ・防犯カメラ (人感センサー式) 1台 計3台

の防犯カメラを設置し犯罪の発生抑制を行った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○平成25年から現在にかけて、死亡事故4件その他事故67件を限りなく0を目指して事業を行い、国・県道周辺の10区の住民1882名が安心して暮らせる村の実現。

○交通事故及び犯罪の無い村に導くことにより、移住人口増に繋げる。

○人通りの少ない箇所や子どもが集まる場所に防犯カメラを設置することで、犯罪発生が抑制される。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

看板設置及び防犯カメラ設置後の、交通事故発生状況や犯罪の発生状況を、交通安全協会及び防犯協会にて検証を行い、交通事故件数や犯罪減少に繋げて行く。

【目標・ねらい】

- ① 住民の交通安全意識の向上
- ② 住民の防犯意識の向上
- ③ 交通事故の減少
- ④ 犯罪件数の減少

【理由】

交通安全協会や防犯協会が設置箇所を検討し行ったため、村内の危険箇所が把握でき、交通事故、犯罪防止意識の高揚が図れた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある